

妻ヶ丘中学校だより

令和7年5月30日（金） 校長 飯干 裕二

2日間の順延を経て、去る5月20日（火）に令和7年度第79回体育大会をようやく実施できました。ご来賓及び保護者の皆様におかれましては、大変ご心配されたこととお察しいたします。今年度も熱中症対策として、5月開催といたしましたが、予想もできないまさかの梅雨入りとなり、雨天及び運動場のコンディション等を勘案し、やむを得なく順延といたしました。しかし、生徒の皆さんは、モチベーションを下げることなく、力の限り競技をしてくださいました。また、新年度がスタートし約1ヶ月という、大変短い期間ではありましたが、時間を有効に使い、感動の体育大会をつくり上げてくれました。今回はその体育大会をご紹介します。



【エール交換】



今年も素晴らしいエール交換でした。この短い期間で、よくぞ一系乱れぬ振り付けを完成させました。このエール交換が口火となり、盛況の体育大会になったと思います。赤団団長（佐々木太翔さん）、白団団長（田村誠悟さん）、青団団長（竹脇銀さん）、そして各団のリーダーのみなさん、本当にお疲れ様でした。

【学級全員リレー】

全学年5クラスでの競技でした。逆転に次ぐ逆転で、大変盛り上がりました。そして、誰一人として手を抜く生徒はおらず、必死で走っていました。走力は十人十色です。全力で競技することに価値があると感じました。

優勝した学級のみなさん、おめでとうございます！

【団技】



1学年の「台風目2025」は、4人で心をつなげて、最後まであきらめずに取り組むことができました。1年生の皆さんの一生懸命な姿。大変好感がもてました。

2学年の「左近太郎」は、本校には欠かせない団技です。予行練習で上手くできた学級も、本番ではそう簡単ではありません。どこが勝つか分からない面白さがありました。

3学年の「妻引き（妻ヶ丘の名前から引用）」は、予行練習から対戦内容等を大幅に変

更し、更に白熱した団技となりました。

各学年とも工夫した団技で、観戦者からも歓喜の声が上がっていました。

【団対抗リレー】

全校生徒572名の中から選ばれた健脚自慢。流石でした。トラックが狭く感じられるほどのスピード感でした。

選手の華やかな入場も、盛り上がった一因でした。アナウンスの声も、声援でかき消されるほどの歓声でした。



【サンバヤッサ】

今年も圧巻の一言でした。本校の伝統である「サンバヤッサ」を、本年度も3年生が見事に演舞してくれました。各団で創作をした場面もあり、見る者に感動を与えてくれました。何よりも全員の弾ける笑顔が、大変素敵でした。



【開・閉会式】

開会式においては、生徒代表あいさつをした岩谷尚憲さん。競技上の注意をした上川葦織さん。ストレッチ運動では、模範演技をした塚田心花さん。閉会式においては、成績発表及び生徒代表あいさつをした、実行委員長の小川翔太さん。

人の前に立ち、あいさつ等を行うことは大変難しいことですが、見事にその責任を果たしてくれました。



【結びに】

やむを得なく平日開催となりましたが、多くの保護者の皆様にご来校いただき、改めて体育大会への関心の高さを感じました。さて、時間毎に天気予報が変化する状況で、本当に態度決定に悩まされました。そんな中、PTA執行部の方々には、何度もご来校いただき、早めの態度決定等にご意見・ご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。そして、体育大会が成功裏に終わったのも、保護者の皆様のご理解とご協力のおかげだと感じております。本当にありがとうございました。

しかし、2点ほど懸案事項があります。1点目は次年度以降の開催期日です。年々変化していく異常気象。熱中症対策及び雷対策も講じていかなければなりません。体育大会の在り方も含め、保護者の皆様のご意見も含めながら、検討させていただきます。2点目は駐車場についてです。平日開催となり、駐車場の確保が困難な状況であるため、事前に保護者の皆様の車でのご来校は、控えていただくようお願いをいたしました。残念ながら、ご来賓の車の前に駐車されている保護者の方がおられ（数回、放送で移動のお願いしました）、ご来賓が長時間にわたり退校できない状況が発生しました。

学校の大きな行事は、学校だけでは運営できません。保護者及び地域の方々のご協力なしでは成し遂げることはできません。学校・保護者・地域の三者が理解し合い、協力しあうことが大切だと考えます。今後も、本校では大きな行事等を控えておりますので、より一層のご支援とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。